



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日 東

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所
 コード番号 5017 URL http://www.foc.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)柴生田 敦夫
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)祖父江 高明 (TEL)03(5462)7803
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	342,500	△17.8	△3,349	—	△4,150	—	△3,400	—
2019年3月期第3四半期	416,567	40.4	△2,038	—	△3,117	—	△3,313	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △4,032百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △3,487百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△44 13	—
2019年3月期第3四半期	△42 99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	289,614	66,730	23.0
2019年3月期	299,144	71,536	23.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 66,505百万円 2019年3月期 71,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
2020年3月期	—	0 00	—		
2020年3月期(予想)				10 00	10 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	491,000	△9.3	△1,200	—	△1,600	—	△1,000	—	△12 98

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	78,183,677株	2019年3月期	78,183,677株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,121,198株	2019年3月期	1,121,188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	77,062,483株	2019年3月期3Q	77,062,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるドバイ原油価格は、期初1バレルあたり68ドル台で始まり、4月下旬には74ドル台まで上昇しました。その後はサウジアラビアの石油施設への攻撃による供給リスクの高まりから一時高騰する場面もありましたが、米中貿易摩擦による世界経済減速懸念等を背景に概ね下落基調で推移しました。12月に入るとOPECプラスの協調減産強化や米中通商協議での第一段階合意公表を受け67ドル台まで上昇し、期末を迎えました。この結果、期中平均は約63ドルとなりました。

一方、期初1ドル111円台前半で始まった外国為替相場は、4月下旬に112円台前半まで円安が進みましたが、その後、米政策金利の引き下げ観測や米国とイランの関係悪化等を背景に円買いが加速し、夏場には米中の報復関税の応酬等から一時104円台半ばを記録しました。その後は再び円安基調となり、米国株式市場の上昇や米中通商協議の進展、英総選挙後のBrexitへの懸念後退等を受けて、109円台半ばで期末を迎えました。この結果、期中平均は約109円となりました。

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、小規模定期修理を実施したこと等により前年同期に比して789千キロリットル減の5,146千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、683千キロリットル減の5,403千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、小規模定期修理による販売数量減により前年同期比740億円減収の3,425億円となりました。損益につきましては、在庫影響（総平均法および簿価切下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）が2億円の原価押し上げ要因（前年同期は33億円の原価押し上げ要因）となったことに加え、小規模定期修理の影響等により、営業損失33億円（前年同期比13億円減益）となりました。経常損失は41億円（前年同期比10億円減益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は34億円（前年同期比0億円減益）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の在庫影響を除いた実質ベースの損益は、営業損失相当額は31億円（前年同期比44億円減益）、経常損失相当額は39億円（前年同期比42億円減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ84億円減少の1,674億円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加58億円、たな卸資産の減少19億円、未収入金の減少116億円であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ10億円減少の1,221億円となりました。主な要因は、建物及び構築物の増加8億円、機械装置及び運搬具の減少6億円、建設仮勘定の減少7億円、投資有価証券の減少4億円であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ8億円減少の1,796億円となりました。主な要因は、未払金の増加23億円、未払揮発油税の増加57億円、買掛金の減少45億円、短期借入金の減少6億円、1年内返済予定の長期借入金の減少15億円、未払法人税等の減少9億円、その他流動負債の減少13億円であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ39億円減少の431億円となりました。主な要因は、長期借入金の減少39億円であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ48億円減少の667億円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少41億円、為替換算調整勘定の減少4億円、その他有価証券評価差額金の減少1億円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回予想(2019年11月7日発表)以降の業績の動向等を勘案し、通期の業績予想を修正します。今回の修正見通しの前提として、第4四半期平均で、原油価格(ドバイ原油)は65ドル/バレル(前回予想同60ドル/バレル)、為替レートは110円/ドル(前回予想同105円/ドル)といたしました。

売上高は、前回予想比256億円増収の4,910億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格の想定の見直しに伴い在庫影響による原価押し上げ要因が縮小する一方、第3四半期において石油製品及び石油化学製品の市況が想定を下回ったこと等により、営業損失12億円(前回予想比8億円減益)、経常損失16億円(同6億円減益)、親会社株主に帰属する当期純損失10億円(同7億円減益)となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた営業損失相当額は5億円(前回予想比26億円減益)、経常損失相当額は9億円(同24億円減益)となる見通しです。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,152	11,839
受取手形及び売掛金	56,890	62,789
有価証券	100	-
たな卸資産	90,596	88,681
未収入金	14,219	2,614
その他	1,955	1,547
流動資産合計	175,915	167,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,478	12,333
油槽（純額）	3,711	3,501
機械装置及び運搬具（純額）	32,821	32,181
土地	51,672	51,672
建設仮勘定	5,027	4,296
その他（純額）	419	602
有形固定資産合計	105,130	104,588
無形固定資産		
ソフトウェア	636	586
その他	133	133
無形固定資産合計	769	719
投資その他の資産		
投資有価証券	16,278	15,806
長期貸付金	795	795
退職給付に係る資産	150	118
その他	517	523
貸倒引当金	△412	△410
投資その他の資産合計	17,329	16,833
固定資産合計	123,229	122,141
資産合計	299,144	289,614

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,252	26,742
短期借入金	80,064	79,367
1年内返済予定の長期借入金	19,481	17,911
未払金	22,132	24,529
未払揮発油税	18,375	24,174
未払法人税等	910	-
その他	8,274	6,963
流動負債合計	180,491	179,689
固定負債		
長期借入金	29,386	25,433
繰延税金負債	8,429	8,772
特別修繕引当金	2,195	2,278
修繕引当金	4,060	3,891
退職給付に係る負債	2,451	2,382
役員退職慰労引当金	9	10
その他	585	426
固定負債合計	47,116	43,194
負債合計	227,608	222,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	30,396	30,396
利益剰余金	19,944	15,771
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	73,376	69,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△82	△257
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△1,888	△2,365
退職給付に係る調整累計額	△74	△76
その他の包括利益累計額合計	△2,044	△2,698
非支配株主持分	204	224
純資産合計	71,536	66,730
負債純資産合計	299,144	289,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	416,567	342,500
売上原価	415,899	342,669
売上総利益又は売上総損失(△)	667	△168
販売費及び一般管理費	2,706	3,181
営業損失(△)	△2,038	△3,349
営業外収益		
受取利息	49	78
受取配当金	245	210
為替差益	1,455	1,150
持分法による投資利益	-	299
タンク賃貸料	159	158
その他	234	136
営業外収益合計	2,144	2,034
営業外費用		
支払利息	2,306	1,989
持分法による投資損失	75	-
タンク賃借料	175	174
その他	666	672
営業外費用合計	3,223	2,836
経常損失(△)	△3,117	△4,150
特別利益		
固定資産売却益	4	4
受取保険金	-	1,157
特別利益合計	4	1,162
特別損失		
固定資産除却損	44	58
災害による損失	116	-
特別損失合計	160	58
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,274	△3,046
法人税、住民税及び事業税	36	△6
法人税等調整額	△8	338
法人税等合計	28	331
四半期純損失(△)	△3,302	△3,378
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	21
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,313	△3,400

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△3,302	△3,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△269	△174
為替換算調整勘定	26	△116
退職給付に係る調整額	△1	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	58	△360
その他の包括利益合計	△185	△654
四半期包括利益	△3,487	△4,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,498	△4,054
非支配株主に係る四半期包括利益	10	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。